

全国市議会議長会表彰（議員勤続20年）



西川正一議員



井上芳弘議員

全国市議会議長会表彰（議員勤続20年）を井上芳弘議員、西川正一議員が授与されました。

監査委員の選任



三宅利弘議員

第222回臨時会（平成20年10月）において、三宅利弘議員が監査委員に選任されました。

第221回 定例会より

ここが聞きたい 市政をたず

一般質問

9月8・9・10日の本会議では、延べ25人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。（発言順に掲載）

ファミリーサポート事業について

高橋佐代子 議員

問

子どもを預かってほしい人と子どもを預かりたい人が会員となり、子育てのボランティア活動を有料で行うファミリーサポート事業がこの4月からスタートしているが、利用者が少ない。今後の課題としてどんなことがあるのか。また、民間委託などにより柔軟で質の高い廉価な料金で、子育てをされる親の立場になって子育てを支援するシステムを定着させていたいただきたい。

答

大きな課題の一つとしては、利用者数を早急に増やすことです。最善のPRは、利用者による口コミであると考えており、依頼会員と子どもと協力会員相互の交流事業を行い、マッチングの進めやすい環境づくりにも取り組んでいきたいと考えています。二つ目は、預かり保育における安全・安心の確保で、保育技術、救急技術、保健衛生に関する知識などの向上を図る研修の充実にも努めているところです。三つ目は、現在は原則協力会員の自宅で行っていると

ころですが、依頼会員の自宅や公共施設などでも保育できるということで、利用者のニーズに応じた対応ができるよう改善も考えていきたいと考えております。

必ずしも直営にこだわらず、NPOや民間事業者等への委託等も含め、大切な子どもをより安全で安心して預けることができる、利用者が使いやすいシステムづくり、受け皿づくりを進めたいと考えています。

学校給食について

別府 直 議員

問

学校給食について、市から一括納入を行って調理、配送、回収等を民間業者に委託すれば、現在よりも経費節減が行えるのではないかと。3中学校だけの実施では現状より費用増になるが、現在給食センターが行っているものを合わせて民間へ委託すれば補えるのではないかと。また、単独調理校については、設備が劣化してきたら順次民間にもっていかばどうか。設備や調理ノウハウを持った民間企業が、地元や近隣にあるので、現

ういった力を活用するのも、現